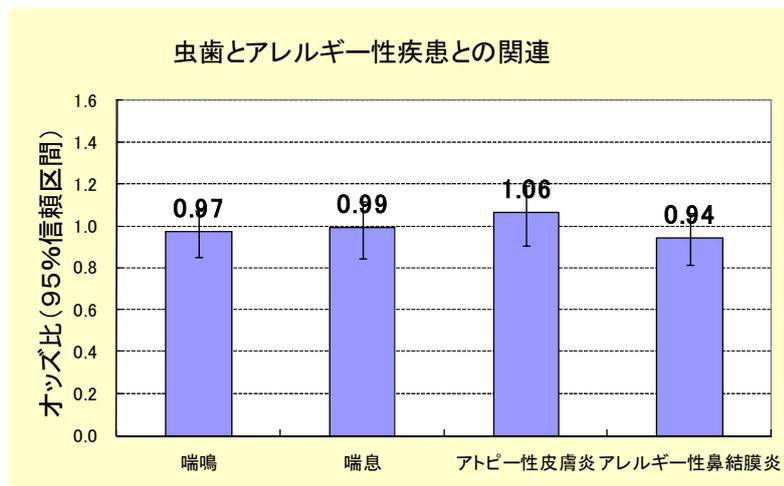


むし歯とアレルギー疾患との関連

背景：感染症の既往があるとアレルギーになりにくいかもしれない、という仮説があります。小児で最もありふれた感染症である虫歯とアレルギー疾患との関連について調べました。

方法：琉球小児健康調査に参加した子供のうち、学校歯科健診のデータがあり、解析に用いた要因にデータ欠損のない 21,792 名を対象としました。ISAAC の定義に従い、過去 1 年に喘鳴、喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻結膜炎の症状のある場合、各アレルギー疾患有りとしてしました。性別、年齢、居住市、兄弟数、家庭内喫煙、両親の喘息、アトピー性皮膚炎またはアレルギー性鼻炎の既往歴、両親の教育歴を交絡因子として補正しました。治療済みの虫歯、または未治療の虫歯がある場合を虫歯有りとして定義しました。

結果：21,792 名のうち、過去 1 年に喘鳴、喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻結膜炎の症状のあった人は、それぞれ 10.8%、7.6%、6.8%、7.6%でした。虫歯のある人は 82.1%でした。虫歯は、解析した 4 つのアレルギー疾患（喘鳴、喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻結膜炎）と統計学的に有意な関連を認めませんでした。



両親のいずれかにアレルギー性疾患の既往歴のある人と無い人とに分けた解析をすると、既往歴のある人では、虫歯とアレルギー性鼻結膜炎との間には負の関連がありました。

結論：虫歯は、小児の最もありふれた感染症ですが、アレルギー性疾患とは関連はなさそうです。

出典： Tanaka K, Miyake Y, Arakawa M, Sasaki S, Ohya Y. Dental caries and allergic disorders in Japanese children: The Ryukyus Child Health Study. J Asthma. 2008; 45: 795-799.